

聖ヶ丘教会
創立一三〇周年記念

福岡伸一氏講演会

生命を捉えなおす

入場
無料

現在、私たちの周りには生命操作を巡る様々な議論がある。遺伝子組み換え、クローン技術、iPS細胞、臓器移植…。これらを可能とする先端技術の通奏低音には、「生命とはミクロな部品が集まってできたプラモデルである」という見方、すなわち機械論的生命観がある。ルドルフ・シェーンハイマーは、生命が「動的な平衡状態」にあることを最初に示した科学者だった。私たちが食べたものの分子は、身体を構成する分子と絶え間なく交換されつづけている。つまり生命とはプラモデルのような静的なパーツからなりたっている分子機械ではなく、パーツ自体のダイナミックな流れの中に成り立っている効果そのものなのである。この「動的平衡」論をもとに、生命とは何かを改めて考察してみたい。

講師 福岡伸一 (ふくおか しんいち)

生物学者。1959年東京生まれ。京都大学卒。米国ハーバード大学医学部博士研究員、京都大学助教授などを経て青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員教授。サントリー学芸賞を受賞し80万部を超えるベストセラーとなった『生物と無生物のあいだ』、『動的平衡』『フェルメール 光の王国』、訳書に『ドリトル先生航海記』など。近刊に『ナチュラリスト—生命を愛でる人』『わたしのすきなもの』。

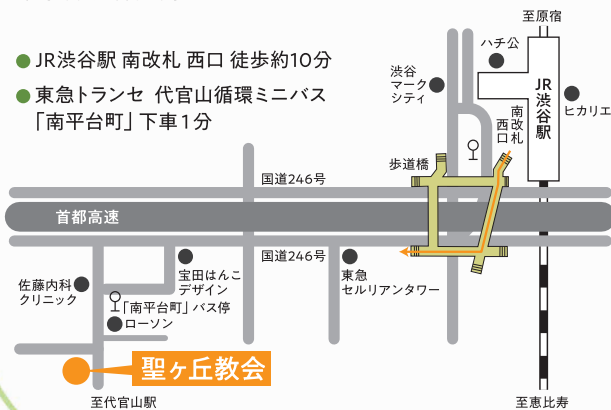
日時 2019年6月16日(日)

開場 13:00 / 開演 13:30

会場 日本キリスト教団 聖ヶ丘教会

東京都渋谷区南平台町9-14

- JR渋谷駅 南改札 西口 徒歩約10分
- 東急トランセ 代官山循環ミニバス「南平台町」下車1分



日本キリスト教団 聖ヶ丘教会

TEL.03-3461-6850 <http://www.hijirigaoka.jp/>

聖ヶ丘教会

検索